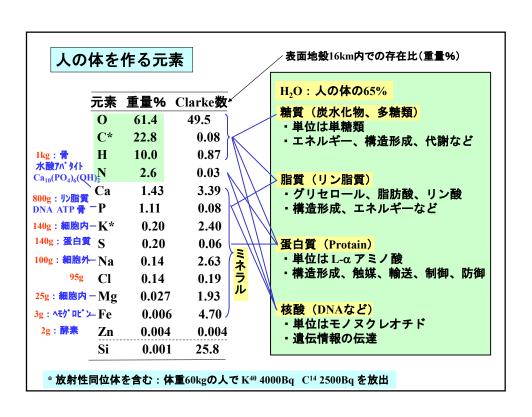
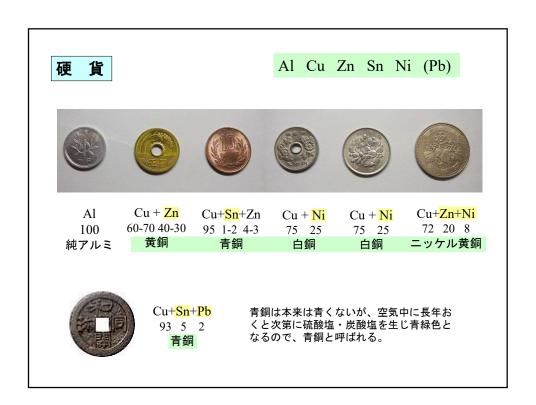
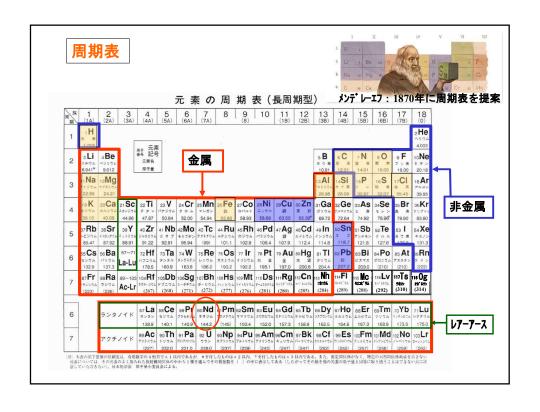
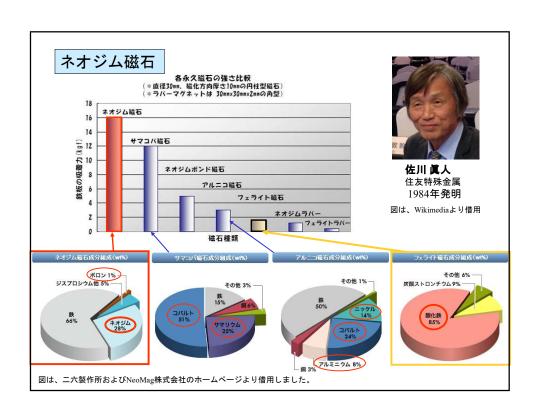


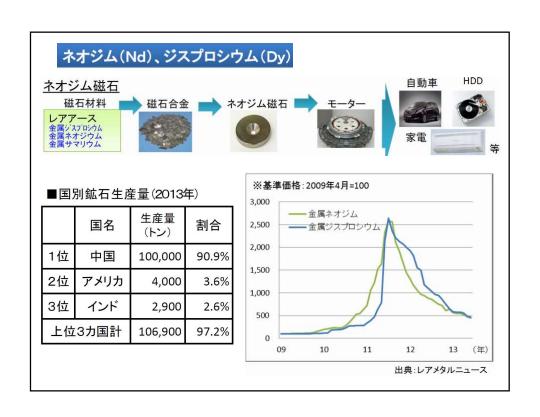
#### さて、どんな元素を知っているだろう?



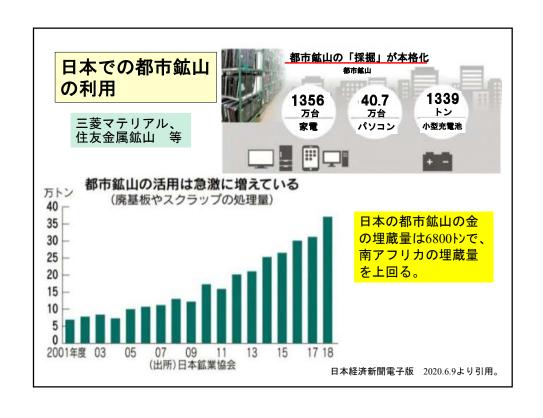


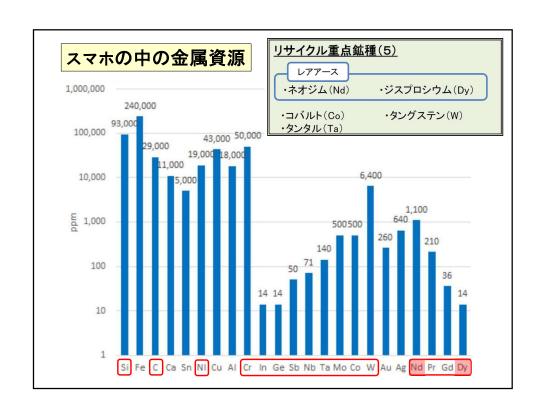


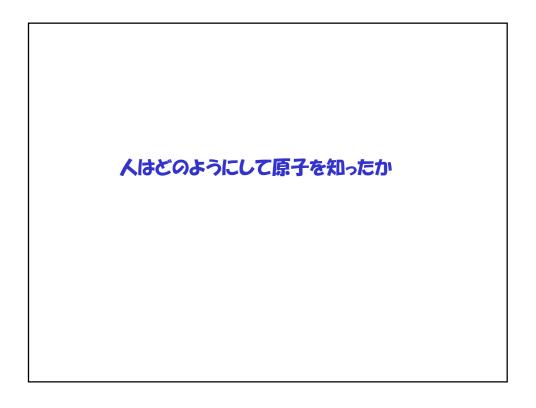


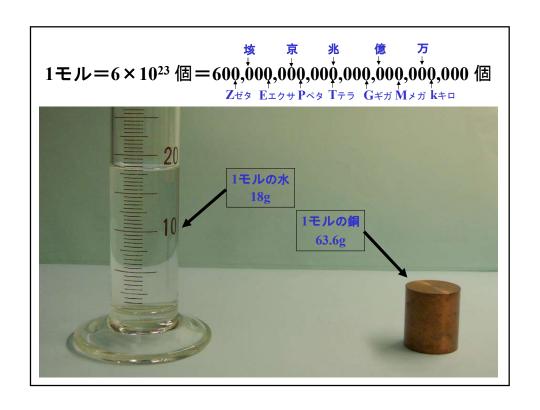


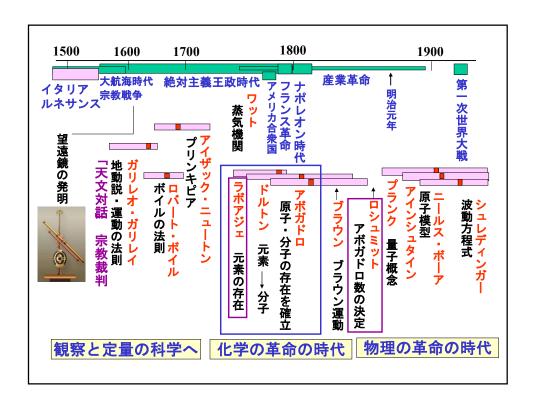






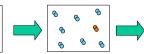






## 原子・分子概念の成立

気体 ?



#### 19世紀-化学の革命の時代

1789年 ラヴォアジェ 質量保存の法則 元素の存在

1801年 ドルトン 相対原子質量表 倍数比例の法則

1811年 アボガドロ — アボガドロ定数

同温度、同圧力、同体積の気体は同数の粒子を含む







J. Dolton



A. Avogadro

写真は、Wikimedia から引用しています。

#### 原子の形を決めた3人の男たち



J.J. Thomson 1856-1940



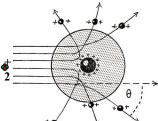
**Ernest Rutherford** 1871-1937

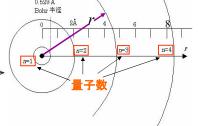


Niels Bohr, 1885-1962









## さて、この多様な元素は何で出来ているのか?

#### 原子を構成する粒子

118種の元素の原子は総て、 電子・陽子・中性子の3つ から成り立っている。 He原子

		•	•		
	電子	陽子	中性子		
電荷	-1 **	+1	0		
質量/kg	9.109 × 10 <sup>-31</sup>	1.673 × 10 <sup>-27</sup> 1837	1.6749 × 10 <sup>-27</sup> 1839		
広がり/m	$0.529 \times 10^{-10}$ * $44000$	$1.2 \times 10^{-15}$	$1.2 \times 10^{-15}$		
. It					

\*ボーア半径 \*\* 1.602 × 10<sup>-19</sup> C

### 元素を構成する粒子

	H	He	Li	Be	В	C	N	O	F	Ne
電子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
陽子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
中性子*	0	2	4	5	6	6	7	8	10	10
原子量	1.01	4.00	6.94	9.01	10.8	12.0	14.0	16.0	19.0	20.2

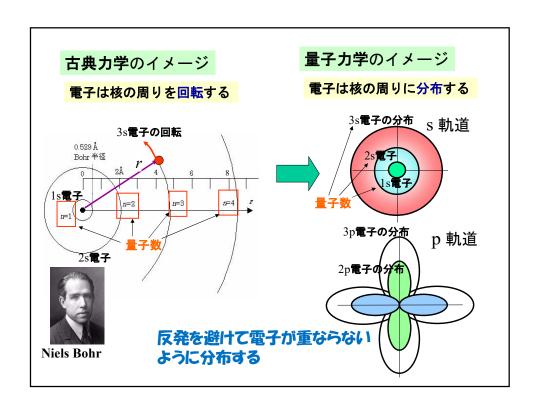
\* 主たる同位体。

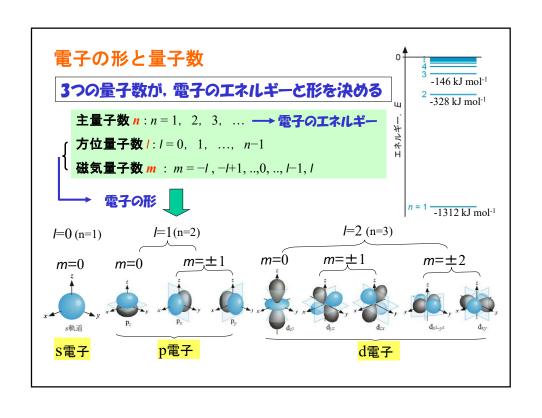
### 同位体の例

	水素	重水素	トリチウム	ウラン238	ウラン235*	ウラン234
電子	1	1	1	92	92	92
陽子	1	1	1	92	92	92
中性子	0	1	2	146	143	142
存在%	99.985	0.015	12.33y	99.275	$0.72(7 \times 10^8 \text{y})$	0.0055

\*ウラン235: <sup>235</sup>U → <sup>231</sup>Th + α (<sup>4</sup>He) + γ

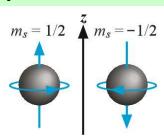
さて、電子は原子中にどのように入っていくのか?





## 電子スピン

古典的には電子の回転のようなイメージであり、原子、分子や物質の磁気的性質の源になるものである。その大きさはスピン量子数(s=1/2)で与えられ、 $m_s=\pm1/2$ の2つのスピン磁気量子数を持つ。



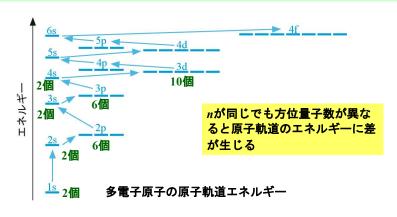
電子スピンのイメージとスピン磁気量子数の符号

電子の形が全く一緒でも、スピン磁気量子数が異なれば、同じ位置を占められる。

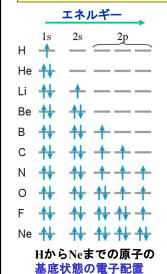
#### 電子の入り方

<del>原子のエネルギー</del>は電子が入っている軌道のエネルギーを合計した ものになる。

エネルギーの最も低い状態 (基底状態)の電子配置を決めるためには、エネルギーの低い軌道から順に電子を入れていけばよい。



# パウリの原理とフントの規則に従って順に電子を入れていくと、基底状態の電子配置を得ることができる



パウリの排他原理 (Pauli exclusion principle)

1つの原子の中の各電子は全く同じ量子数の組 $(n, l, m, m_s)$ をとることはできない。

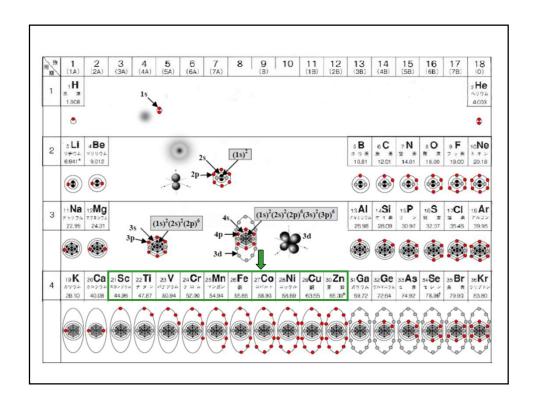
#### フントの規則 (Hunt's rule)

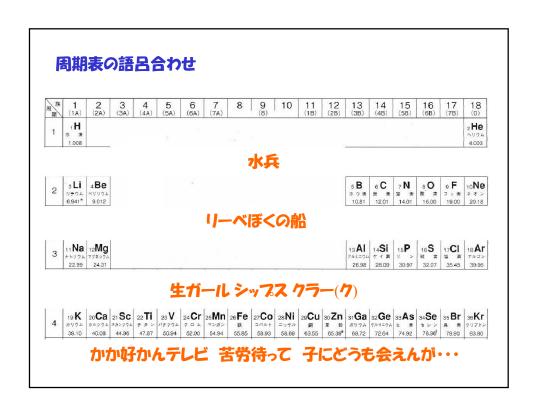
 ${2p_x, 2p_y, 2p_z}$ のようなエネルギーの等しい軌道に電子を入れる場合には、スピンを同じ向きにして(つまりスピン磁気量子数 $m_z$ をそろえて)なるべく1個ずつ配置する。 右図の $C\sim O$ がこれにあたる。

#### 電子配置の記述法

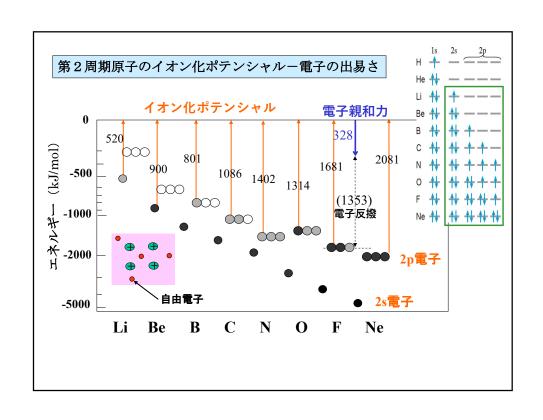
酸素Oの場合: (1s)<sup>2</sup>(2s)<sup>2</sup>(2p)<sup>4</sup>

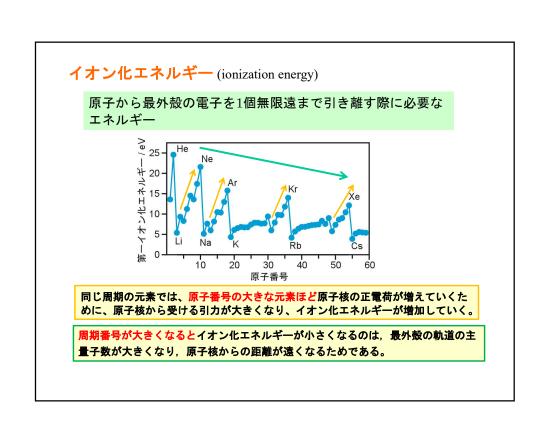
ナトリウム**Naの場合**: (1s)<sup>2</sup>(2s)<sup>2</sup>(2p)<sup>6</sup>(3s)<sup>1</sup>





さて、電子の入り方で原子の性質はどのように違うのか?





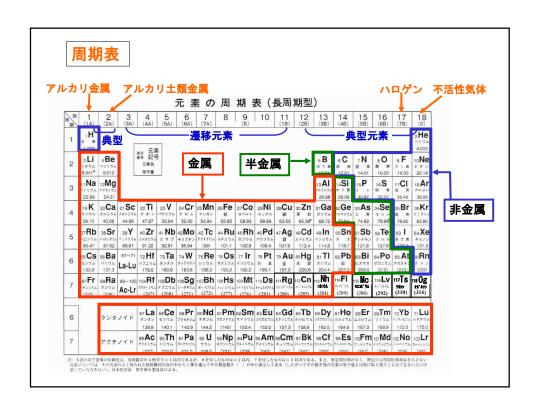
## 電子親和力 (electron affinity, EA)

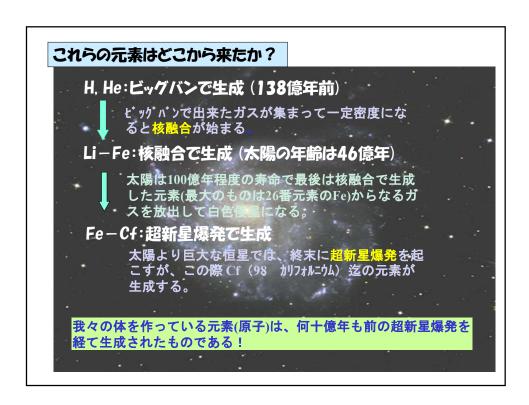
## 電子を1つ加えたときに原子がより安定な状態になることで放出されるエネルギー

	基礎編 改訂5版						
Н							Не
0.754							< 0
Li	Ве	В	C	N	0	F	Ne
0.618	< 0	0.277	1.263	-0.07	1.461	3.399	< 0
Na	Mg	Al	Si	P	ន	Cl	Ar
0.548	< 0	0.441	1.385	0.747	2.077	3.617	< 0
K	Ca					Br	Kr
0.501	< 0					3.365	< 0

2族のアルカリ土類金属原子はns軌道に電子を2個, 18族の希ガス原子はnsとnp軌道に合わせて8個ちょうど入った状態なので、余分な電子が入ると不安定になる。

17族のハロゲン原子は電子を1つ受け取るとnsとnp軌道が全部で8個 (閉殻) になり安定となるため、大きな正の電子親和力を持つ





#### 授業のレジメと予習用の/ートは

ホームページ「木々の移ろい」

http://www.plant.kjmt.jp/

のトップページの最下段にある

「鈴鹿医療科学大学」をクリックして

「化学の世界」に入って、

pdfファイルをダウンロードしてください。

